

## 令和元（平成 31）年度 事業報告「業務全体をブラッシュアップする」

### I 法人年度報告

- ・ スタッフの業務を見直し法人全体のあり方を整理、「スタッフが主導して店の質を高めること」ではなく、「利用者が安心できる場で生活の中の課題に挑戦する」「スタッフは利用者とともに歩む」ことが大切である、と再確認した。
- ・ 就業規則等の改定、キャリアアップ制度の整備を行い処遇改善加算の上位加算取得の手続きを行った。
- ・ 地域・関係機関との関係は着実に深まっている。
- ・ 行政への要望活動について、担当者と精神保健福祉を取り巻く諸課題を共有する中で「何とかしたい」という意識を持ってもらえるようになった。
- ・ 高齢期に当たる利用者に法人としてどう対応するかが大きな課題となっていたが着手できなかった。

### II 事務局

#### 1. 年度計画

- ・ 経理：財政及び収支状況を的確に把握するよう努めた。
- ・ 人事・労務管理：キャリアパス制度を導入しスタッフ給与体系を整備した。
- ・ 消費税課税対象事業者として、適切に納付した。令和元年度は消費税率引き上げ・軽減税率の導入があり複雑化したが、問題なく対応している。

#### 2. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会

- ・ 理事会：第 1 回（5 月 22 日、平成 30 年度事業報告(案)及び事業監査報告、平成 30 年度決算報告(案)及び会計監査報告、新理事・監事候補者の選出、令和元年度第 1 回評議員会の日時及び場所並びに議題等）、第 2 回（6 月 19 日、理事長の任期満了に伴う改選に関する件について）、第 3 回（3 月 1 日、令和元（平成 31）年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに議題等 \*理事会決議の省略による）、第 4 回（3 月 25 日、令和元（平成 31）年度補正予算(案)、令和 2 年度事業計画(案)、令和 2 年度予算(案)、就業規則・給与規程・キャリアパス表改定(案)、施設内喫煙所設置(案)、苦情解決第三者委員の委嘱)
- ・ 評議員会：第 1 回（6 月 19 日、平成 30 年度事業報告(案)及び事業監査報告、平成 30 年度決算報告(案)及び会計監査報告、新理事・監事の選出）、第 2 回（3 月 25 日、令和元（平成 31）年度補正予算(案)、令和 2 年度事業計画(案)、令和 2 年度予算(案)、施設内喫煙所設置(案))
- ・ 評議員選任・解任委員会：評議員改選年度に当たらないため開催せず
- ・ 監事監査（4 月 25 日）
- ・ 指導監査（5 月 31 日、京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課による集団指導）

### III 就労継続支援 B 型事業所 ジョイント・ほっと

#### 1. 年度報告

- ・ 日々の利用者の様子をスタッフ間で共有し、利用者に関心を持つことにタイムリーに挑戦する機会を設けた。
- ・ 仕事以外の同好会等学びの場、余暇活動について、外出やイベントより所内で気軽に取り組める企画が好評を得た。
- ・ 高齢期に当たる利用者の一部に対し、通所時に送迎を実施、「体力に余裕ができた」と笑顔で仕事

に取り組む姿が増えた。また、健康状態に不安のある利用者に看護師が声をかけ日常の健康維持を意識しやすくした。

## 2. 利用者支援

### (1) 社会生活支援

#### ① 安心できる場所づくり

- ・ 9・2月に全員に対し個人面談を行った他、希望に応じて随時面談を行った。ニーズを丁寧に聞き取り、個々の利用目的の整理に努めた。
- ・ 陽なたや他の相談支援事業所と連携し、生活におけるニーズを整理した。必要に応じ、他の社会資源を活用できるよう支援した。

#### ② 目標に向かって働ける場所づくり

- ・ 利用者の日々の声をスタッフが共有し、シフトの中で利用者がいち早く実践できるように取り組み、実感が伴う支援につながった。
- ・ 利用者工賃の体系を見直し、簡便化した。

#### ③ 研修

- ・ 必修研修：衛生研修（7月）、防災研修（12・3月）、年度末研修（3月）
- ・ 任意研修：ホール研修（11月）、パントリー研修（7・1月）、すてき熟（5・6・7・8・10・11・1・2月）

#### ④ 余暇支援

- ・ ほっと・ヴォイス、パソコン同好会、チクチク隊、他店見学、花見、暑気払い、旅行会（紅葉狩り）、忘年会、初詣・新年会、カラオケ、わが街探検隊

#### ⑤ 一般就労支援

希望者にハローワークや就労移行支援事業所の紹介、見学を実施、将来や働き方について考える機会となった。ジョイント・ほっと卒業者に対しては、陽なたやコミュニティーサロンふうと連携しフォローを行った。

#### ⑥ 新規利用者受入

新規利用者を2名受け入れたが、うち1名は緊張が強く、2ヶ月で退所となった。もう1名には週1回の利用が定着しつつある。

### (2) 働く場

#### ① 寺町本店厨房

- ・ 利用者の調理技術が向上、食材のカットに慣れた利用者が増えた。徐々にではあるが、主菜の調理にも参加する利用者が現れたのは嬉しいことである。
- ・ 多くの利用者が接客やパントリーの研修を受けた。パントリー研修の後にコーヒーの練習に取り組み、パントリーの仕事に就く利用者が増えた。
- ・ 利用者と店舗のインテリアを一新し、人目を惹くものとなった。

#### ② 健光園あらしやま店

- ・ 今までスタッフが担っていた調理に挑戦する利用者が増えた。
- ・ 社会福祉法人 健光園から委託契約書の見直しの提案があり、更改した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症まん延のため、2/26から休業となった。

#### ③ 製菓

- ・ 理解しやすく、また上手に作れるように利用者の声を聞きながらレシピの文章を改良してい

る。

- ・ 体調が優れない利用者と仕事内容を相談し調整した。個々のペースに合わせた仕事調整・見守りにより最後までがんばる利用者が多かった。
- ・ 令和2年度から施行される食品表示法に対応した食品表示シールの準備がほぼ完了した。いったん菓子の種類を減らしたため、4月以降は徐々に種類を戻す。

#### ④ 事務・デザインユニット

- ・ 現在5名の利用者が担当している。担当を希望する利用者はもっといたが、全体の仕事量を増やせず、十分に行えなかった。

#### ⑤ 渉外ユニット

- ・ 販売・喫茶：医療機関・福祉事業所・企業で定期的に販売・喫茶・納入した他、イベントの出張喫茶・販売を行った。ほっとはあとバースデーでは2事業所にデコレーションケーキを納品した。
- ・ 講演活動等への参加：各大学や学会、民生児童委員会、下京ネットワーク地域懇談会、事業所見学者の案内説明等を行った。

#### ⑥ 洗濯ユニット

- ・ 自分ひとりのペースで仕事ができることを尊重しつつ、一人ですべてをこなすのが難しい場合にはスタッフやボランティアがともに行った。

#### ⑦ 清掃ユニット

内部…寺町店店舗準備・クリーン（所内清掃）

外部…コミュニティーサロンふう準備・お寺・コインパーキング・町家ホテル（2月末をもって契約終了）

#### ⑧ サブワーク

仕事内容：箸帯作成、箸袋のシール貼り、弁当箱のシール貼り、菓子袋のシール貼り、茶葉の小分け、ポイントカード作成、領収書印鑑押印、広報誌発送作業

- ・ 通常シフトに入るのが難しい利用者が負担の少ない仕事をした。

#### ⑨ チェックインアウト

仕事内容：サブワークと同じ、栗の皮むき（林万昌堂からの委託）

- ・ 通常シフトに入るのが難しい利用者が不定期で負担の少ない仕事をした。

### 3. 家族

- ・ 茶話会「親亡き後に備える」（11月）・「日頃の苦労や工夫を分かち合おう！」（2月）実施したアンケートを反映した内容で年2回開催、近年稀にみる多数の参加があった。
- ・ 個別家族相談
- ・ 家族通信「おほほほ」の発行

### 4. 地域との交流

- ・ 地域行事（地蔵盆、開智こども神輿、夏祭り等）に積極的に参加した。
- ・ サロンを活用しクールスポットを実施した。
- ・ 地域の防災訓練に参加した他、下京区社会福祉協議会や地域の福祉事業所と連携し被災時にも協力しあえる関係を構築した。
- ・ 下京区役所と連携し「下京たんぽぽ広場」にて子育て世代に子連れでもくつろげるカフェである旨のチラシを配布した。

## 5. 啓発、広報活動

- ・ 広報誌「てりてり」の発行（8・1月 約 800 部送付）
- ・ メルマガ発信（毎月初旬）
- ・ 学びのための学生ボランティア、ワーキング支援の社会人ボランティア受け入れ
- ・ 実習生受け入れ
- ・ イベント・講演会での利用者の体験発表の機会を設けた。
- ・ ホームページのリニューアル作業に着手した。

## 6. スタッフに関する事項

- ・ スタッフ会議（第2・4（月）17:30～19:30）、生活支援員会議シナリオミーティング（第1（火）17:30～19:30）、事例検討会議（第3（火）17:30～19:30）、職業指導員会議（第4（木）18:30～20:00）、部門別会議（3ヶ月に1度程度）
- ・ スタッフ研修：所内：2回（「ケースの共有」「伝える言葉を点検しよう（虐待研修）」）、外部：各種

## IV 相談支援事業所 陽なた

### 1. 年度報告

33名の利用者に対する福祉サービス等利用計画書、モニタリング報告書を作成した。

調子を崩した利用者に対しては他機関やご家族らと密接に連携しまた家庭訪問を実施して支援を行った。ご家族の高齢化を見据えた支援、利用者自身の身体疾患とも上手に付き合っていく支援も課題となった。一方で一般就労を目指す利用者も複数名おり、障害者就業・生活支援センターや障害者職業センターとも連携を行った。

### 2. 活動

- ・ 福祉サービス等利用計画、モニタリングを作成した。計画に基づき、個々の利用者が自身の生活に主体的に取り組むことを支援した。
- ・ 計画作成、モニタリングを行うにあたり、生活相談、家庭訪問等を行った。
- ・ 医療、行政、他の福祉サービス等との連携を強化した。

## V コミュニティーサロン ふう

### 1. 年度報告

利用者数は減少したが、多くの人とのかかわりを通して対人恐怖を克服でき、また人とのつながりがあることで安心感を得られ、デイケアに通所できた人がいた。

何度も他の利用者とトラブルになり、その都度スタッフが介入する場面があった。都度説明し、少しずつサロンの趣旨を理解された。

月2回、3月末まで「地域生活支援センター西京」から生活相談に来ていただいた。

### 2. 活動

- ・ （火）（水）（木）（金）15:00～19:00 開所
- ・ 平均利用者数 7.3 名